

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19015-1	体育・文化活動支援事業(小学校費)	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 教育費
	施策の方向	03:学力・体力の向上と豊かな心を育む教育の推進	科	項 小学校費
戦略プロジェクト		目	目 教育振興費	

② 目的・概要	対象	亀山市内各小学校
	目的	成長期にある児童に優れた音楽、芸術を鑑賞する機会を確保し、豊かな想像性、情操の涵養と芸術文化活動の充実向上に資するための支援をする。

				24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	① 名称	小学校児童に対する演奏会の開催	計画値			
		補足	演奏会参加児童数	実績値	1,850	2,339	1,819
		単位			人	人	人
	② 名称	小中学校音楽会の開催	計画値				
		補足	音楽会参加児童数	実績値	751	727	713
		単位			人	人	人
成果	① 名称	演奏会・音楽会参加児童生徒の肯定的評価	計画値				
	補足	アンケート調査	実績値	80	83	85	
	単位			%	%	%	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					・市内5校(亀山西小、亀山東小、井田川小、屋生小、神辺小)で、和楽器集団「独楽」による演奏会開催。 ・小中音楽会では新居由佳梨のピアノコンサートを招待演奏として開催した。 ・図工美術展、書写展開催。			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	370	平均給与額×③
		事業費		2,030	1,947	一般職員人件費 ②	370	
		国庫支出金				所要人員 ③	0.05	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤	0	
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		2,030	1,947			
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	370				
	総コスト		⑥	2,317				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	・本物の芸術を鑑賞することで、子どもの情操を育むことができた。 ・伝統邦楽の演奏を聴いたり、わらべ唄を共に唄ったりして、日本の伝統文化に触れることで、そのよさを見直し、児童の興味関心を高めることにつながった。	B

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】
	・児童の発達段階を踏まえつつ、地域で文化・芸術的な活動、芸能活動等を行っている方々を活かした取組をすすめていく必要がある。

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】
	・成長期にある児童に優れた音楽、伝統文化を鑑賞させる機会を持つため、関係部局と連携を図りつつ、児童の実態に合った演奏者の選定等を行っていく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 教育研究室長 伊達 弘
--------------	---------	----------------------